

緑の風 FAX版

NO. 11

2017年10月11日

JR東労組情宣部

ICLS東京フォーラム2017

組織強化と団結強化を通じて、不平等とたたかう力を青年労働者と共に育てる

9月28日～29日、東京・品川において、ICLS東京フォーラム2017が開催されました。「組織強化と団結強化を通じて、不平等と闘う力を青年労働者と共に育てる」というメインスローガンのもと、10ヶ国より111名の同志が出席しました。

今フォーラム開催国である日本からは、安倍政権が推し進める憲法改正と、戦争へ向けた動きへの危機感、そして労働者と安全をないがしろにする資本に対する危機感のもと、どのように組織を強化し担い手を育成していくのかを問題提起し、各国から様々な意見が出され議論をおこないました。

また、9月27日には、フォーラムの前段として、都内1日平和研修をおこないました。丸木美術館と鉄道博物館を見学し、JR東労組の初代松崎委員長のお墓のある高済寺へお参りに行きました。高済寺では松崎委員長の功績や思い出、思想を各国の同志と共有し、いかに平和が大切かということを確認しました。

そして今回のフォーラムでは各国の青年労働者の連帯を図るため、フォーラム終了後の夜に、参加した各国の青年労働者たちとよさこいソーラン節を練習し、最終日のさよならパーティで披露しました。よさこい披露後、アンコールが巻き起こり、2回目は青年労働者だけでなく、皆で一体となって演舞しました。

ICLSは今後も、テロにも戦争にも反対し、格差をなくし、平和で安心して暮らせる社会を目指し、奮闘していきます。

